ASAHIKAWA CITY

旭川市報道依頼

各報道機関 様

KJ00570281 2025年11月20日

	_ 発信課 農政部農業振興課
	担当者 ブランド推進係 北野
	電 話 直通25-7438/内線3718
	連絡先 FAX
	E-mail nougyousinkou@city.asahikawa.lg.jp
分 類	イベント・行事 [] 募集 [] 契約・入札 [] 会議・説明会 [] その他 [〇]
日 程	令和7年11月17日
発表項目	 「社会貢献型旭川産農産物販路拡大事業」がふるさと納税自治体連
(行事名)	合表彰で「優良事例」として表彰されました
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	
	「ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合」主催のふるさと納税自治体連合表彰において、「社会貢献型旭川産農産物販路拡大事業」が優良事例として表彰されました。表彰は「第9回ふるさと納税の未来を考えるシンポジウム」にて行われ、福井県の杉本知事より表彰状を授与いただいたほか、「社会貢献型旭川産農産物販路拡大事業」の取り組み内容について、事例発表を行いました。当事業はネッス一株式会社の「こどもふるさと便」に参画する形で実施しており、ふるさと納税でいただいた寄附を活用して旭川産米を購入し、全国のこども食堂やひとり親家庭、難病と向き合うこども達にお届けするプロジェクトです。
添付資料	有 無
報道(取材)に当 たってのお願い	
備 考	



ZVESISTY E



全国のこども食堂やひとり親世帯のこどもたちへ 旭川のお米を届けたい

近年、物価高の影響を受け「食」に関して支援を必要としている世帯が増えています。

そうした世帯を支援するため、こども食堂や支援団体へ食品の寄附が寄せられていますが、まだ十分とは言えません。また、現在の米価格の高騰もこういった支援に大きな影響を及ぼしています。

こうした現状を受け、ひとり親世帯やこども食堂等へお米を中心とした旭川産農産物を継続的にお届けすることで、食支援に貢献したいと考えています。

皆様からいただいた寄附を財源に、行政と食品関連事業者が連携してこども食堂や困難を抱える子 育て世帯を支援します。

「こどもふるさと便」寄附ポータルサイトにて寄附受付中!



お米の届け先を選択できます! 「47都道府県」or「支援団体」



寄附はこちらから



北海道の米どころ

旭川は大雪山の山々に囲まれた上川盆地にあり、盆地ならではの春夏秋冬、昼夜の寒暖差が美味しい農産物を育みます。また、市内を大小様々136本もの川が流れており、河川を通じて山々からのたくさんの雪解け水が田や畑を潤し、豊かな実りを生み出しています。

連続特A

一般財団法人日本穀物検定協会が毎年発表する食味ランキングにて、道産米の「ゆめぴりか」と「ななつぼし」は最上級の特Aの評価(最新は令和6年産米)を連続で受けており、その美味しさは全国的にも高く評価されています。

環境に優しい農業

旭川市の農業は環境に優しい取り組みを積極的に行っており、持続可能な農業を目指しています。地元の農家は、長年の経験と技術を駆使して、安心・安全な農産物を提供しています。

なぜお米を届けるのか

他の自治体で規格外野菜をこども食堂やひとり親世帯のこどもたちへ届けるというプロジェクトが行われていることを知ったことがきっかけで、私たちにも貢献できることがあると考えました。こども食堂等には様々な食材が届きますが、元々米が不足していると言われていることもあり、北海道の米どころである旭川からは、お米を中心とした旭川産農産物をお届けすることにしました。

旭川の質の高いお米をお届けすることで、こどもたちに美味しいお米を味わってもらい、食の楽しさを感じてもらうと同時に、国内有数のお米のまちとして社会課題の解決に少しでも貢献したいと考えています。

事業受託者「ネッスー株式会社」

ネッスー株式会社(本社:東京都世田谷区、代表:木戸優起)は「こどもの機会格差の解消」をビジョンに掲げるスタートアップ企業です。フードバンク兼業型ネットスーパーの事業を通して地域の企業・団体などと連携し、食や体験の格差に苦しむこどもがいない、やさしい社会の実現を目指しています。



ネッスーHP



こともふるさと使

旭川市で実施する当プロジェクトをネッスー株式会社が受託し、ネッスーが実施する「こどもふるさと便」に旭川市も参画する形で、現在こども食堂等へお米を届けています。



寄附はこちらから



作付面積・収量ともに 全道1位(R6)

> 作付面積 5,990 収穫量 37,400 b



事業スキーム イメージ図



